

令和 3年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	黒岩	
全体計画				経費区分		実施計画事業費		内線			3425	
事業事業名	4186 観光・誘客宣伝事業											
所 属	150300 産業振興部・商業観光課											
施 策	15042600 観光産業の振興											
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	070103 商工費・商工費・観光費										
	事業	020000 観光・誘客宣伝事業										
事業目的	事業概要・効果											
観光宣伝及びイベント等の開催により観光誘客を図る					コロナ禍の状況ではあるが、観光パンフレットの作成や観光情報の提供、観光案内誘客業務委託（須坂市観光協会）や観光PR業務委託等により観光誘客を図る							

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 予定
観光パンフレットの作成、観光情報の提供 観光案内誘客業務委託(21,600千円)や観光PR業務委託(8,000千円)等による観光誘客	観光パンフレットの作成、観光情報の提供 イベントの実施 観光案内誘客業務委託(21,600千円)や観光PR業務委託(8,000千円)等による観光誘客
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
観光パンフレットの作成、観光情報の提供 イベントの実施 観光案内誘客業務委託や観光PR業務委託等による観光誘客	観光パンフレットの作成、観光情報の提供 イベントの実施 観光案内誘客業務委託や観光PR業務委託等による観光誘客
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
観光パンフレットの作成、観光情報の提供 イベントの実施 観光案内誘客業務委託や観光PR業務委託等による観光誘客	観光パンフレットの作成、観光情報の提供 イベントの実施 観光案内誘客業務委託や観光PR業務委託等による観光誘客

指標名	シルキー観光案内所への観光客数					単位	人
算式	シルキー観光案内所での観光客利用者数					単位	人
年度	令和3年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標	2,000	2,000	25,000	2,500	3,000	
実績							
指標選定の理由	観光案内所へ訪れる観光客数により、戦略的なPRの効果が計れる						
最終年度目標の根拠	大型イベント等の実施の有無により利用者数が増減するが、コロナ禍の状況もあり2019年度（平成元年度）の実績値（2,979人）を維持する						
指標名	観光地利用者数						
算式	観光地利用者統計調査による					単位	人
年度	令和3年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標	550,000	650,000	700,000	750,000	800,000	
実績							
指標選定の理由	観光地利用者統計調査による数値のため						
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標						
実績							
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和2年度 決算	令和3年度 予算
事業費		70,673	49,796
特 定 財 源	国庫支出金	21,078	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	61,089	5,261
一般財源		△11,494	44,535
人員数 (人)	正規職員	1.7	0.0
	嘱託職員	0.5	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人 員 コス ト	正規職員	11,845.6	0.0
	嘱託職員	1,574.5	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	13,420.1	0.0
市民一人当たりの経費		1.6	1.0
総額		84,093.1	49,796.0

(単位：千円)

令和2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	1,072	消耗品430、印刷製本費542ほか
12節 委託費	29,600	観光案内誘客業務21,600、観光PR業務委託8,000
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	39,538	各観光団体等会費及び負担金2,777、新型コロナ臨時交付金関係29,151ほか
その他	463	

(単位：千円)

令和3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	2,753	消耗品470、印刷製本2,080ほか
12節 委託費	29,710	観光案内誘客業務21,600、観光PR業務委託8,000ほか
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	15,330	各観光団体等会費及び負担金・イベントに対する負担金11,330ほか
その他	2,003	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の生命・財産を守るために市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	須坂市を知っていただくため、観光案内誘客業務や観光PR業務は必要不可欠である 新型コロナウィルス感染症の影響により多くのイベントが中止となった 新型コロナウィルス感染症の影響を受けた宿泊事業者等への支援を行った	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	関係機関等との連絡を密に行いながら県内外に情報発信を行っている	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	須坂市を知っていただくため観光案内業務や観光PR業務、情報発信を地道に行っていく	

振り返り（決算年度の取組み課題）

宿泊観光業者等においては、新型コロナウィルス感染症の影響を大きく受け大変厳しい年となった
コロナ禍後を見据え、イベントの開催や観光案内業務や観光PR業務、情報発信を地道に行っていきたい

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	2次評価	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	2次評価コメント			
長野県の強みである自然や山岳観光、更にはブランド力のある果物や味噌等の地域資源を活かしながら関係機関とも連携し、知名度向上とコロナ終息後を見据えて来訪客の確保を図るうえでも有効な施策である。	アフターコロナを見据え、地域資源を活かした知名度の向上を図っていく有効な施策である。			

外部評価

次年度以降の方向性
外部評価コメント